

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日清エフ・ディ食品株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒701-4276 岡山県瀬戸内市長船町服部250番地	
本票作成	部署名：品質管理課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	当社は、昭和47年に日清食品の子会社として設立された真空凍結乾燥を専門とする工場である。主にカップ麺の具材に使用される乾燥エビや乾燥肉が主要製品である。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日清エフ・ディ食品株式会社		岡山県瀬戸内市長船町服部250番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度		～	平成 31 年度		( 5 箇年度)				
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)				目標年度 (平成 31 年度)					
	5,029 t CO <sub>2</sub>				4,778 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量						
	①	日清エフ・ディ食品株式会社		5,029 t CO <sub>2</sub>						
				t CO <sub>2</sub>						
				t CO <sub>2</sub>						
				t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産品目に合わせて代表品目に合うようウエイト付けをし、生産数量(t)とする。(乾燥エビ：1.00 乾燥肉：0.61 乾燥チキン：0.50 成型具材2.58、乾燥豆腐0.61、乾燥かま0.59)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		8.044 t CO <sub>2</sub> / ( t )	7.642 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

基本的には、省エネ法の考えを基にしており、原単位でエネルギーの使用量を年平均1%改善できるよう努力していきます。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。
- ・ISO14001に基づき、工場長をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
日清エフ・ディ食品株式会社	平成23年5月 トレー洗浄機に熱交換器を設置 平成23年8月 乾燥機の配管保温 平成24年8月 工場窓に断熱フィルムを張り付け 平成25年3月 乾燥機のスチームトラップの交換 平成25年8月 スチーム機の蒸気配管に保温ジャケット取り付け 平成26年2月 会議室の照明を冷陰極蛍光灯に変更 平成26年4月 排水処理場の灯光器をLEDに変更 平成26年5月 乾燥機の熱交換器に保温ジャケット取り付け 平成27年3月 調湿室の蒸気配管に保温ジャケット取り付け

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
日清エフ・ディ食品株式会社	平成27年度 事務所・包装室の空調の更新 平成28年度 変圧器の更新（低損失タイプへの変更） 平成28年度 冷凍機の更新 平成29年度 重油ボイラーからガスボイラーへの更新

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

原単位当たり排出量の数値変更の理由  
 生産品種構成により、原単位が悪化することがあるため製品ごとのウエイトの見直しを行いました。  
 以前は「乾燥エビ：1.00 乾燥肉：1.06 乾燥チキン：0.50 成型具材2.21」で計算していましたが、今回より「乾燥エビ：1.00、乾燥肉：0.61、乾燥チキン：0.50、成型具材2.58、乾燥豆腐0.61、乾燥かか0.59」として計算を行った結果、原単位排出量に変更になっております。